

れ脈が回復しましたが予断を許さぬ状況。

皆野病院で処置を受けた後、医師の判断により防災ヘリで埼玉医科大学国際医療センターに搬送されました。

防災ヘリで運ばれる富子さんを見送った二人に救急隊員からは、「状況をいち早く判断し、適切な対応をしていたいただいたことに感謝します。」との言葉が。「一人でなく二人であったことが心強かった。適切な対応ができたのは、二人の心が一つになったから」と原さんと持田さんは語ります。

◆奇跡の回復

埼玉医科大学国際医療センターに搬送された富子さんはすぐさま集中治療室へ。病名は急性心筋梗塞。3本ある冠動脈のうち1本が完全につまっている状態でした。病院に駆けつけた娘の豊美さんに、担当医師からは「助かる確率は20%〜30%です。」との宣告。

しかし、手術は無事成功。1週間後には自分で食事ができるようにするなど、奇跡的な回復を見せました。後遺症も一切なく、医師からは、「命が助かり、後遺症もないのは、救急車が到着するまでの救命処置のおかげ。」との話があったそうです。その後、予定より1週間ほど

早く退院された富子さん。もうすでにグラウンドゴルフを楽しむと、元気で長生きするのが、原さんや持田さん、処置にあたってくださった皆さんへの恩返しだと思っています」と明るく語る富子さん。

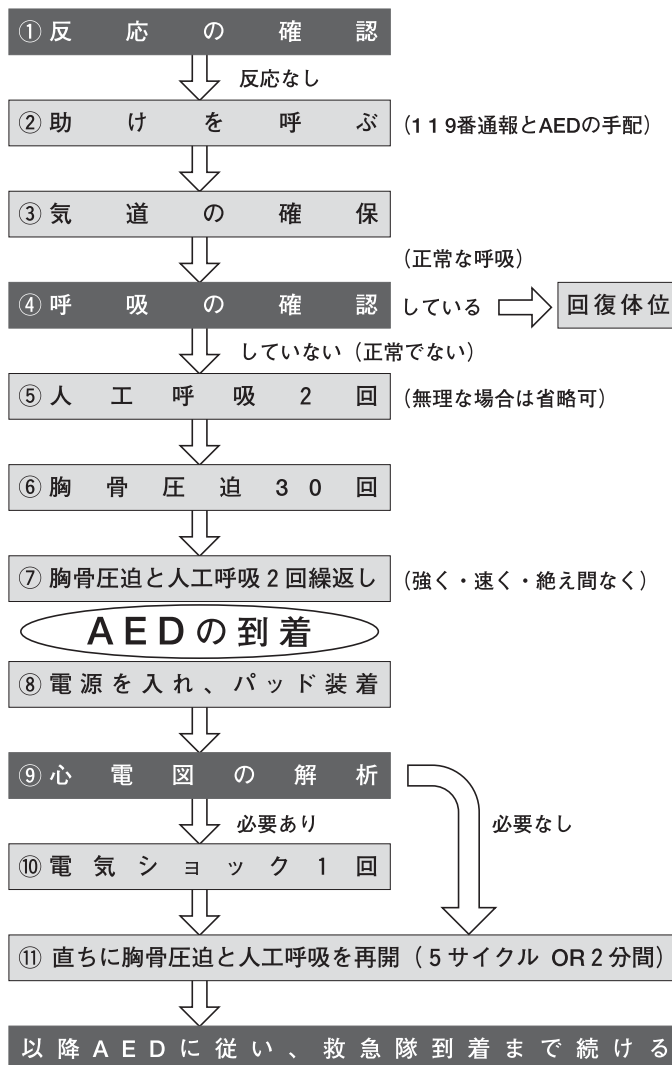


小林 豊美さん 小林 富子さん

富子さんの退院を、皆野スポーツ公園テニス場で聞いた原さんと持田さんは、ハイタッチして喜びをかみしめたそうです。

このような事態は、いつでも起こるかわかりません。救命は医師だけの役割ではありません。発見者の役割も非常に重要な命があります。スムーズな救命処置が行えるよう、積極的に救命講習を受講し、心肺蘇生法やAEDへの理解を深めていただくようお願いいたします。

救命処置の流れ（心肺蘇生法とAEDの使用）



◆AEDってどんなもの？

突然の心臓停止は、心臓がブルブルと細かくふるえる「心室細動」によって生じることが多く、この場合には、できるだけ早く心臓に電気ショックを与え、心臓の動きを取り戻すことがとても重要です（これを除細動といいます）。AEDはこの電気ショックを行うための機器です。コンピュータによって自動的に心室細動かどうか調べて、電気ショックが必要かどうかを決定し、必要な作業を音声メッセージで指示してくれます。一般のかたでも、簡単に確実に操作することができます。

◆AEDはどこにあるの？

- 町の施設では次の場所に設置されています。
- ・皆野小学校職員室（1階）
 - ・国神小学校保健室（1階）
 - ・金沢小学校職員室（1階）
 - ・三沢小学校保健室（1階）
 - ・皆野中学校保健室（1階）
 - ・ふれあいプール・ホット監視員室（1階）
 - ・教育委員会（文化会館2階）
 - ・総合センター事務室（1階）
 - ・水と緑のふれあい館事務室前（1階）
 - ・皆野幼稚園職員室（1階）
 - ・長生荘事務室（1階）

普通救命講習

秩父消防本部では、毎月第3日曜日にAEDを使用した普通救命講習を行っています。多くの皆さんの受講をお待ちしています。



問合せ 秩父消防本部警防課 ☎21-0122